選定に際してのご注意

⚠ 警告

●相線式（1φ2W，1φ3W）・回路電圧に合わせて選んで下さい。
感電事故の防止ができません。

⚠ 注意

●単相３線式の漏電遮断器は、必ず中性線欠相保護付を選んで下さい。
異常電圧が発生し電気器具を損傷する恐れがあります。

住宅の電気設備推奨基準

1．住宅用分電盤

（1）住宅用分電盤はＪＩＳＣ８３２８「住宅用分電盤」に適合し、（社）日本配線器具工業会の認定マーク（HPマーク）が貼付されたものを推奨する。
（社）日本配線器具工業会が認定した住宅用分電盤には、認定マーク（HPマーク）が貼付されている。

HPマーク

（2）単相３線式の場合、単相200V電気器具が容易に採用できるよう、200Vの予備回路を設けておくことが望ましい。

（3）予備回路、分岐ブレーカの設置スペースを確保しておく。

2．漏電遮断器

（1）住宅用分電盤には、必ず漏電遮断器を施設する。

（2）単相３線式電路に施設する漏電遮断器は、中性線欠相保護機能付きのものを原則とする。

3．分岐回路

（1）分岐回路数は、住宅の広さに応じて下表の値以上とする。

住宅の広さ	必要最小回路数	望ましい回路数							
		計	内訳			αの例			
			照明	一般コンセント		衣類乾燥機	エアコン	洗浄便座	電子レンジ
				台所	台所以外				
50㎡（15坪）以下	3	5＋α	1	2	2	1	1～3	1	1
70㎡（20坪）以下	4	7＋α	2	2	3	1	1～3	1	1
100㎡（30坪）以下	5	8＋α	2	2	4	1	1～5	1～2	1
130㎡（40坪）以下	6	10＋α	3	2	5	1	1～6	1～2	1
170㎡（50坪）以下	8	13＋α	4	2	7	1	1～7	1～2	1

・αは大容量電気器具用などの専用回路を示す。
・電気利用の変化に対応できるように、200V回路及び100V回路各１回路以上の予備回路を設ける。
・専用分岐回路の必要な大型電気器具については、上表のほかに別の専用分岐回路を設ける。
なお、電気器具の種類によっては、200V回路を設ける。
・分岐回路は、電灯用とコンセント用に分けることが望ましい。
・深夜電力機器など電気契約種別の異なるものは、別個の専用回路を設ける。

（2）専用分岐回路
・10Aを超える大型電気器具は、専用回路で使用する。また、とくに大型の場合は200V分岐回路を適宜設ける。
・一般に専用分岐回路で使用する電気器具としては、次に示すようなものがある。
電子レンジ、電気レンジ、食器洗い器、電気暖房器、エアコン、衣類乾燥機、洗浄便座など

お願い

「取扱説明書・施工説明書」は商品に同梱しておりますので、ご使用前に必ずお読み下さい。